

## 第 11 回 西蒲区自治協議会 議事概要

日時：令和 5 年 3 月 20 日（月）

午後 1 時 00 分～午後 3 時 30 分

場所：巻地区公民館 3 階 小ホール

事務局 (丹治補佐)	<p>皆さまお疲れさまです。定刻となりましたのでただ今から令和 4 年度第 11 回西蒲区自治協議会を開催いたします。</p> <p>本日机上に、市長と区自治協議会委員との懇談会資料の差し替え。資料 5、区自治協議会会長会議議事概要、北区自治協議会だより第 20 号、西区自治協議会広報紙、北区自治協議会フォトコンテストカレンダー、新潟市西蒲区旅マガジン。以上を配付していますのでご確認をお願いします。</p> <p>また、会議にあたり、委員の出席状況についてご報告します。委員 30 名のうち、本日の出席者は 27 名であり、過半数の出席を確認しています。従いまして、新潟市区自治協議会条例第 9 条の会議の運営規定を満たしていることをご報告します。</p> <p>また、傍聴につきましては 1 名、報道は 1 名が来席しています。</p> <p>事務局及び、報道関連の写真撮影ならびに録音をさせていただいておりますのでご了承をお願いします。</p> <p>それではこれ以降の会議につきましては新潟市区自治協議会条例第 9 条の規定により長井会長から議長として進行をお願いします。</p>
議長 (長井会長)	<p>これより市長との自治協議会委員の懇談会を始めます。</p> <p>まずは中原市長より、令和 5 年度、新潟市の取り組みについてご説明をお願いします。</p>
(中原新潟市長)	皆さんこんにちは。
(会場)	(こんにちはの声)
(中原新潟市長)	<p>中原です。日頃から自治協議会委員の皆さまには市政や区政の取り組みにさまざまなご協力をいただき、改めて厚く御礼を申し上げます。</p> <p>また、地域の共通の課題として皆さまからご尽力をいただいていることにも重ねて感謝申し上げたいというふうに思います。</p> <p>本日は現在、市議会のほうで審議中であり、来年度の令和 5 年度当初予算案につきまして皆さま方にご説明します。</p> <p>その前に来年度は新潟市にとりまして、新しい総合計画がスタートする年となりますので、予算案の前に少しお時間をいただき、ご説明します。</p> <p>それでは最初に 3 ページをおめくりください。</p> <p>先ほど申し上げましたように、令和 5 年度は新潟市にとって新たな総合計画に基づいた、新しいまちづくりがスタートする年となりますので、計画の概要について若干ご説明します。</p> <p>この「新潟市総合計画 2030」は 2023 年から 2030 年までの 8 年間の計</p>

画でありまして、新潟市のまちづくりの方向性を示す、新潟市の最上位の計画となります。

この計画の策定にあたりましては、各区の自治協議会の委員の皆さまから多大なるご協力をいただきました。ありがとうございました。

自治協の皆さまをはじめ、広く市民の皆さまの声を反映させるため、アンケートやワークショップ、審議会などを実施しながら昨年度から策定を進め、12月の市議会で基本的な構想と計画部分について議決をいただいたところです。

また、審議会には各区の自治協から1名ずつ委員に就任いただき、貴重なご意見をいただきました。

4ページです。本市とまちづくりの考え方や公共性を示すまちづくりの理念は、資料に書いてありますように、「活力あふれるまちづくり」、「持続可能なまちづくり」を進めます、としました。

5ページをおめくりください。目指す都市像には将来にわたって新潟市ならではの「心豊かな暮らし」ができるまちを実現したいという思いから、「田園の恵みを感じながら心豊かに暮らせる日本海拠点都市」を掲げたところです。

6ページです。計画の進捗管理を行うため、3層構造の成果指標を設定し、最上位の指標となる総合指標には目指す都市像や、新潟市の最重要課題である人口減少への対応を踏まえ、社会動態、合計特殊出生率などの、4つの指標を設定しました。

7ページをおめくりください。目指す都市像の実現に向けて、分野横断的かつ重点的に推進する施策を、「1都市機能の充実と拠点性の向上」から「10安心・安全で災害に強いまちづくり」まで、10の重点戦略としてまとめました。

これらの重点戦略を推進することで都市機能の充実と拠点性の向上を図り、市内全域の産業の活性化につなげます。

そして、そこから生み出される活力と財源を活用し、子育て支援など、住民福祉のさらなる向上を図る好循環を創出していくことが重要です。

8ページです。本市の最重要課題である人口減少への対応について、この人口減少の要因は複雑に絡み合っており、左側の人口減少をやわらげるイメージ図、青丸の「合計特殊出生率の向上」と赤丸の「社会動態の転出超過の解消」は1つの施策によって状況が大きく変わるものではありません。

先ほど説明しました重点戦略を中心としたあらゆる施策の総動員により対応してまいります。

9ページをお願いします。新潟市の持続的な発展に欠かせない、区におけるまちづくりについてです。市内8区には歴史や文化、産業といったさまざまな特色と魅力があふれています。

その特色と魅力が新潟市としてひとつになることで都市と田園の調和

による暮らしやすさなど、新潟の持つ強みを生み出しています。

そのため、これまで以上に区の特徴を全面に押し出しながら個性あふれる区づくりを進めます。

そして、各区の活力向上を図り、8つのカラーで成長し続ける新潟市を実現してまいります。

以上が総合計画の概要についてです。

次に11ページをお開きください。新年度一般会計当初予算案は過去最大の総額3,977億円、前年度比1.4パーセント増となります。

力点の1つ目「活力あふれる新潟へ」では、「にいがた2km」に関連する事業費は前年度から5億円を増額し、都心エリアのまちづくりを力強く推進します。

次に2つ目「子どもと子育てにやさしい新潟へ」では、妊娠・出産・子育て3施策の拡充を図り、併せて3億円を増額しました。

続いて3つ目「活力と魅力あふれる区づくりに向けた取組の強化」では区長提案による各区の課題解決の加速化を図り、新たに5億1,000万円の各種事業を計上したほか、西蒲区役所の新庁舎整備にも着手します。

また、いちばん下の「その他」に記載したとおり、建設事業費は約390億円を計上し、新潟駅直下バスターミナル供用開始に向けた駅周辺整備事業などに取り組むほか、学校の特別教室の空調整備などを推進してまいります。

12ページです。当初予算案の概要についてです。まず、一般会計と特別会計、企業会計のそれぞれの規模は一般会計が3,977億円、特別会計が2,539億円、企業会計が1,311億円となり、全会計の合計は89億円増の7,827億円で、前年度比1.2パーセント増となります。

次に借金にあたる市債残高については臨時財政対策債を除いた、令和5年度末見込みで約3,656億円となり、前年度比約48億円減少する見込みです。

貯金にあたる基金残高については令和3年度末では107億円あまりでしたが、この冬の除雪の財源として取り崩さざるを得なくなり、今年度末残高は95億円余を見込んでいましたが、なお、先日国から除雪費に対する9億円の追加配分が決定されましたので、今年度末残高は104億円余となる予定です。

新年度予算ではこの残高を維持・確保し、基金活用に頼らない、6年連続の収支均衡予算を達成しました。

さらに社会情勢の変化に対応した財政基盤の強化に向けた、不断の見直しとして、職員数の適正化や、事業の見直しも進めてまいります。

13ページをお開きください。ここからは3つの力点ごとに具体的な新規拡充の取り組みについてご説明します。まず「活力あふれる新潟へ」です。これまでまちづくりの大きな転換期を見据え、都市再生緊急整備地域の指定や、「にいがた2kmの覚醒」の公表など、都市機能の充実に向

け、都心エリアの活性化策を積極的に展開してきました。

5月にはG7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議が開催され、世界から注目が新潟に集まります。

この大きなチャンス逃すことのないよう、本市の魅力をもっと日本中、世界中にアピールしてまいります。

14ページをお願いします。企業誘致においてはにいがた2kmを中心とした、現在の良い流れをさらに加速させていきます。

進出を考えております企業から、本市の優れたビジネス環境を試していただく取り組みを新たに実施します。

また、企業の本社機能のさらなる誘致について支援を政令市トップクラスにまで拡充します。

都市機能の充実と魅力向上に向け、ハード面では引き続き新潟駅周辺整備を着実に進めます。

また、旧三越周辺の再開発や、仮称「バスタ新潟」の調査や設計に関する予算も計上しました。

ソフト面ではにいがた2kmと8区の魅力を高め、発信する取り組みを支援します。

また、古町花街の歴史的な街並みの保存に向け、民間事業者の皆さまと協力しながら進めていきます。

また、にぎわい創出に向け、まちなかを緑で彩る取り組みや東大通の車道の一部を歩行者のための空間とする社会実験、今年度初めて開催しました、「にいがた2km食花マルシェ」などをバージョンアップして開催します。

15ページをお開きください。成長産業の育成を強化するため、デジタル社会や脱炭素社会を見据え、DXやGXなどの新たな技術を活用したビジネスの展開を一層支援し、企業の稼ぐ力を高めていきます。

農業においては若者から選ばれるという観点も重視し、「儲かる農業」を目指し、新たに親元で就農する農業者をはじめ、新規就農者を支援します。また、官民連携による販路拡大に取り組みます。

16ページになります。働き方・暮らし方の変化というチャンスを生かし、移住・定住の一層の促進に取り組みます。

新たに地域おこし協力隊を活用し、テレワーカーのコミュニティ構築や、情報発信など、移住者を呼び込むしかけを作っていきます。

また、市外の副業人材などと市内の企業をマッチングすることで、企業の課題解決や本市との関係人口を創出する取り組みを開始します。

交流人口の拡大では先ほど申し上げましたG7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議を通じ本市のすぐれた拠点性や、おもてなしの力を国内外にアピールします。

また、世界遺産登録を目指す佐渡市などとの連携により、誘客活動を積極的に展開します。

加えて新潟駅のリニューアルに合わせ、新しい駅にふさわしい観光案内センターを整備します。

また、県が中心となり、官民で進めている新潟空港将来ビジョンの策定が検討中ですが、空港周辺の道路の調査や検討を進めていきます。

次に17ページをお願いします。「子どもと子育てにやさしい新潟へ」です。

私が市長に就任してから、こども対象医療費助成の対象を2度拡充したほか、病児・病後児保育施設を8区で展開するなど、一定の成果が出てきています。

しかしながら、国や県からも新たな取り組みが示されているなど、まだまだ子育て世帯の経済的・精神的負担は大きく、重点的に取り組んでいく必要があると考えています。

18ページです。こうした考えのもとで妊娠・出産期の経済的・精神的負担の軽減に向け、妊産婦医療費助成の所得制限を撤廃します。

また、産後ケアへの助成も政令市トップの水準まで拡充し、利用料金を引き下げます。

さらに保育料について多くの方からご要望いただいております。高校3年生までの子どもを軽減対象に含める拡充を行い、妊娠・出産・子育て3施策を充実します。

19ページをお開きください。すべての子どもが豊かな子ども期を過ごせるよう、子ども条例に基づいて子どもの権利擁護や社会参加などを促進します。

また、ヤングケアラー・コーディネーターを新たに配置するほか、障がいがあるなど配慮が必要な子どもたちへの切れ目ない教育支援体制作りを進めます。

そのほかにもICTを活用し、見守り支援や事故防止対策など、子どもたちの安心・安全対策を強化します。

20ページです。地域との連携による開かれた学びを推進するため、コミュニティ・スクールの充実や、部活動の地域移行への準備を進めます。

また、子どもたちが地域の文化・歴史を体験する機会を設け、ツアー形式のプログラムを新たに実施します。

併せて、社会全体で子育てを応援する新潟市を推進し、民間事業者の皆さまとの連携をさらに進めてまいります。

21ページをお開きください。「活力と魅力あふれる区づくりに向けた取り組み」です。次の3つの見直しを行い、区の予算と権限を拡大いたします。

1点目の各区の課題解決では区民の皆さまの要望を踏まえ、区長からの提案を積極的に予算化できるよう、予算編成プロセスの転換を図り、住民起点での、より良い地域づくりをさらに推進します。

新年度、各区で取り組む8区の主な事業につきましては記載のとおり

	<p>です。</p> <p>西蒲区におきましては、西蒲ワーキングツーリズムの実施。</p> <p>さらに地域の多様な主体とのパートナーシップにより区のまちづくりを深化させていくため、区長からの提案を基に関係部で予算化しました。</p> <p>記載の2つの新たな事業によって各区の新たな取り組みを後押ししてまいります。</p> <p>22 ページです。2 点目の 8 区の特徴を生かしたまちづくりでは、区づくりの予算の実質的増額を図り、各区独自の取り組みによる区づくりをさらに進めます。</p> <p>3 点目の修繕要望については各区の緊急対応予算を 1.5 倍に増額し、より多くの要望にお応えできるようにしていきます。</p> <p>こうしたことにより、区役所が区民の皆さまの声に寄り添い、迅速かつ柔軟に対応することができるよう取り組んでまいります。</p> <p>23 ページですが、ここからはそれぞれ区の新規拡充事業を掲載していますので区長から説明をしてもらいます。</p>
(鈴木西蒲区長)	<p>西蒲区の鈴木です。西蒲区の事業ということで、30 ページのほうお聞きください。</p> <p>これまでの地域総合計画の中の区ビジョンの中でもふれておりますが、人口減少に対する対策ということで、特に新規事業、西蒲区の移住等促進事業を進めさせていただきます。</p> <p>これについては、令和 3 年度にはすでに市場調査、そして令和 4 年度にはモニターツアーを行い、人口流入を促進するために新たな観光スタイルであるワーケーション、これを中心しながら空き家の利活用などについても調査・研究をしてまいります。</p> <p>そうしてこの下、観光関係になりますが、これまでの数年間、取り組みをさせていただきました「新潟空港からの二次交通整備事業」。これは新潟空港から予約制の乗り合いタクシーで西蒲区、そして弥彦村まで行くということで共同運行になっていますが、これを引き続きやらせていただき、観光需要の回復の中など、インバウンドも視野に入れながら進めてまいりたいと思っています。</p> <p>その下、「西蒲観光周バス運行事業」。こちらのほうは自治協議会の皆さまからも乗っていただき、いろいろ活動していただいています。これについても来年度さらに少しパワーアップをして、8 月も運行する中で多くの方が西蒲区に訪れ、その魅力をたくさん体験していただきたいということで、引き続き本格運行としてやってまいります。</p> <p>その下、新規として「にしかんワーキングツーリズム事業」ということで、ただ単にこれは農業者の方と、人手不足、労働者不足を解消しようということと、移住促進と、2つの目的を持ちながらやることなのですが、農業者の方とその農業や地域に興味がある方たちが出会えるマッチングサイトを活用して、そこで就農者を募って人手不足の解消を図りな</p>

	<p>がら、リピーターを増やし、その将来的な移住人口につなげていこうと いうことで新たにチャレンジをさせていただきたいと思っています。</p> <p>そしていちばん下になりますが、「新規西蒲区役所新庁舎整備事業」と いうことで、冒頭 11 ページのほうで市長からも話をいただきました。</p> <p>いよいよ西蒲区役所の整備というところで進めていくところです。</p> <p>それも平成 28 年度の時に自治協議会の皆さま方からもご参加いただい た、この整備に関する勉強会を踏まえまして、現在位置での整備が望ま しいというご意見、地域要望を、意見をまとめていただいていますので、 その現在位置での建て替えを基本とさせていただきながら、防災拠点の 機能をしっかりと含め、行政機能、そしてそれ以外の機能ということで 基本計画、構想を策定してまいります。</p> <p>その際にはまた自治協の皆さまからのご意見いただきたいと思ってい ますので、どうぞご協力をお願いしたいと思っています。</p> <p>西蒲区は以上です。</p>
<p>(中原新潟市長)</p>	<p>それでは続けてもう少しありますのでお付き合いいただきたいと思 います。31 ページをお開きください。ここからは主な新規拡充事業を、総 合計画の 10 の重点戦略の構成に基づいて掲載しています。のちほどご覧 いただければと思います。</p> <p>飛びまして 45 ページをお願いします。物価高と新型コロナウイルスへ の対応についてです。</p> <p>まず、物価高騰に対し、今年度も厳しい状況にある皆さまを支援して まいりました。</p> <p>加えて新年度は物価高騰により、困窮する子育て家庭に対して子ども 食堂や子どもの学習・生活支援事業での、食事提供などを通して支援し ます。</p> <p>また、生活困窮者を支援する団体への補助拡大、中小企業への融資に おける対象者の要件緩和などを実施します。</p> <p>これらの取り組みに加え、今後も国や県と連携し、適時適切な対策に 努めてまいります。</p> <p>次に感染拡大から約 3 年が経過する新型コロナウイルス感染症への対 応については 5 類感染症への移行を踏まえ、引き続き感染拡大防止対策 と医療提供体制の整備に努めながらあらゆる場面で平穏な日常を取り戻 せるよう、着実に歩みを進めてまいります。</p> <p>次に都心のまちづくり、にいがた 2km の覚醒。都心エリアの方向性で ありますが、49 ページをお開きください。</p> <p>これまで 3 つの基本方針に沿ってまちづくりを進めてまいりました。 基本方針 1 では新潟駅南口西地区の事業をはじめとした都心部の再開発 を促進するとともに戦略的な企業誘致を推進してきました。</p> <p>昨年度の企業誘致件数が 8 社だったところ、今年度は 1 月末時点で 14 社と、これまで進めてきた成果が徐々に現れてきています。</p>

来年度も都市再生緊急整備地域を活用し、支援制度のさらなる充実を図りながら戦略的な企業誘致を推進してまいります。

併せてDXプラットフォームの取り組みやXRを活用した新たなビジネスを創出するためのプロジェクトを推進することで稼げる都心づくりをより一層加速させていきたいと考えています。

50 ページです。基本方針2では8区と連携したVR産直市場をオープンするなど、「にいがた2km・8区連携を促進する取り組みを始めました。

また、「にいがた2km食花マルシェ」を初開催し、食と花の魅力を内外に向けて発信したところです。

来年度は食花マルシェをバージョンアップし、新たに「にいがた2km魅力創造・8区連携して補助金」を創設し、都心エリアにおける新たな魅力やビジネスの創出、8区との連携を促進する事業への支援を行います。

51 ページをお開きください。基本方針3では将来的な人中心の空間づくりに向け、東大通の車道の一部を活用した社会実験を行いました。

また、「にいがた2kmフラワーフェスタ」を開催し、多くの方から参加をいただきました。

また、回遊性の向上を図るため、「にいがた2kmシェアサイクル」の運用を開始しました。

来年度につきましては「新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン」の具現化に向けた活動への支援や、緑豊かな都市空間の実現を図るなど、ゆとりと潤いのあるまちづくりを一層進めてまいります。

52 ページ、お願いします。続いて新年度新たに設置されました公民連携のワンストップ窓口、「公民パートナーシップデスク for Niigata (フォー・ニイガタ)」についてご説明いたします。53 ページをお開き下さい。

このパートナーシップデスクは人口減少時代にあっても新潟市が日本海側拠点として躍進していくため、民間事業者など、さまざまな皆さまからの提案や相談など、ワンストップで受け付ける窓口です。

業務としては今ほど申しあげました提案・相談への対応から、事業化に向けたサポートも行います。

民間事業者の皆さまといっしょにオール新潟で公民の連携を推進することで活力あふれるパートナーシップ型のまちづくりを進めたいと考えております。

54 ページです。これまで市が行ってきたことは左側の四角囲みにありますとおり、市でとらえている課題を公表し、その解決に向けた提案を募集してまいりました。

しかし、新年度からは型枠の民間活力を区や市の活力につなげる提案についても、このワンストップの窓口にご提案いただきたいというふうに考えています。

以上、令和5年度当初予算の概要について説明をさせていただきました。引き続き皆さまとともに、市民の皆さまが笑顔で、希望を持って暮

	<p>らすことのできる明るい新潟の未来を切り開いてまいりたいと思いますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。</p>
議長 (長井会長)	<p>中原市長、解説をありがとうございました。続いて意見交換に移ります。できるだけ多くの委員からご発言をいただくため、ご意見は簡素にお願いします。せっかくの機会ですので、市長が説明された内容を中心にご質問をお願いします。発言する場合は挙手で名前をお願いします。畠山委員、お願いします。</p>
(畠山委員)	<p>中原市長、市政や当初予算の説明よく分かりました。ありがとうございました。</p> <p>私は西蒲区自治協議会、3期6年で辞任となります。そこで、最後の務めとして、意見を発言させていただきます。</p> <p>その1つ目は11ページに記載されています。よろしいですか。</p>
(中原新潟市長)	<p>大丈夫です。</p>
(畠山委員)	<p>11ページに記載されています、2「子ども・子育てにやさしい新潟市」の、妊婦・出産・子育て3施策のところですよ。</p> <p>今の西蒲区の人口は54,000人。そのうち西川地域は約1万人。5つの地域のうち、妊婦の診察や出産する産婦人科が巻に1か所しかないので。</p> <p>20年前までは西川地区でも出産可能な医院がありましたが、今は、西蒲区の出産控えた婦人は遠い西区の済生会病院まで行かなければなりません。妊婦は大変困って不安がっています。</p> <p>秋葉区でも産婦人科がなくて、県のほうで産婦人科の診療所を作って、専門医2人を常駐すると報道されています。</p> <p>3日ほど前のテレビで、糸魚川市の福島から来た妊婦さんが、糸魚川中央病院産婦人科が廃止になったというので、富山中央病院か上越の中央病院かしかなくて困っていると言っていました。</p> <p>市長、少子化を防止し、子どもと子育てにやさしい新潟市を実現するために、西蒲区含めて子どもを安心して生める産婦人科施設をぜひ設置してほしいと思います。市長の考えをお聞かせください。</p> <p>2つ目は14ページのにいがた2kmのことです。私はにいがた2kmを中心に市が活力向上のエンジンになることはとても賛成です。</p> <p>しかし、全体に目を通すと、都市中心部の施策が多いように思えるのですが、いかがでしょうか。</p> <p>たとえば、この3月25日に中央環状道路の明田ー上塩俵、白根が開通します。また、年中渋滞する国道116号線は市長の尽力で、工事が開始されています。</p> <p>こちら実質は西蒲区、特に西川地区と密接な関係があります。この機会に西川地域の116号線沿いの土地利用を見直して開発できるようにしたらどうでしょうか。</p>

	<p>その2つの道路をきっかけに商業化とか企業がどんどんと116号線沿いに中央環状道路に入ってくれば、若者も首都圏に移住せず、地元に残り、就業する。そうすれば西蒲区の人口も増えるのではないかと思いますがいかがでしょうか。市長の考えをお聞かせください。</p>
議長 (長井会長)	<p>市長、お願いします。</p>
(中原新潟市長)	<p>ありがとうございました。3期6年間、貴重な役員としてご尽力いただきました。今日、任期を迎える方がいらっしゃいますけれど、改めて皆さま方に御礼を申し上げたいと思います。</p> <p>今ほど2点のご質問をいただきました。少子化という現状の中で、今ご指摘をいただいたように小児科や産婦人科が全国でだいぶ少なくなっている。新潟県内においてもそうですし、新潟市内においても小児科や産婦人科が非常に少ないという現状にあります。</p> <p>やはりこれも、お医者さまの立場からすると需要がないから、やはり小児科や産婦人科が作れないという実情も一方ではあるというふうに思っています。</p> <p>また、小児科や産婦人科ということになりますと夜間の診療も、いつ生まれるか分かりませんので、そうした対応をしてあげなければなりません。</p> <p>それで、現実の話として、今西蒲区におきましては荒川医院さんがありますけども、市内におきましても秋葉区、それから南区、そうしたところにもないということをおっしゃっています。</p> <p>まずそのために今後は、広域でカバーできる体制を作っていく必要があるというふうに思っています。</p> <p>また、産婦人科だけではなく、県全体の医師不足の中で、新潟市においても同じような高齢化の状況がありますので、こうした対策を県とともに連携しながら少子化対策や、また、少子化に対応した病院の整備に努めてまいりたいというふうに思っています。</p> <p>それから3月25日に中央環状線が明田から北部工業団地までつながることになります。ご協力をいただきました皆さま方に心から感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>新潟市といたしましては、この合併した地域をつなぐ新潟中央環状線かつては大外環状線と言って県が整備をしていましたが、政令市になりましたから、新潟市がこの新潟中央環状線を整備しています。</p> <p>地元の皆さまからも、大変要望の強い道路であり、合併したエリアをつなぐ、西蒲区から東港までの約45キロの道路でありますので、こうした道路を早期に整備をいたしまして、今、ご指摘をいただきました、こうした沿線に、商業地、市街化区域との連たん、既存公共交通との存在。そういう環境のネットワークの連動などで今後の西蒲区のまちづくりを考えていきたいというふうに思いますのでよろしくお願いします。</p>

(畠山委員)	ありがとうございました。
議長 (長井会長)	ありがとうございました。 ほかにございませんか。 田中委員、お願いします。
(田中(弘)委員)	岩室の田中です。私の岩室の間瀬地区というところでは、高齢化と過疎化の中で、若者たちが立ち上がり、地域住民の意向を的確に把握しようということで、中学生以上対象にした全住民アンケート。これをこの春の実施に向けて検討をしています。 アンケートの実施は、いろいろ分析していく中で将来を見据えた地域づくりを検討していきたいと思っていますので、新潟市のほうの行政の皆さんの知恵をお借りしながら進めていきたいと思っていますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。 また、ほかの地域の参考になるような取り組みにもつなげていきたいと思っておりますので、ぜひご協力をよろしくお願ひします。以上です。
(中原新潟市長)	ありがとうございました。全住民を対象にしてのアンケートを実施していただけたということで、またそれを基に魅力的、有効的なまちづくり、地域づくりが進むようにわれわれも一生懸命ご支援させていただきます。よろしくお願ひします。
議長 (長井会長)	ありがとうございました。 原委員、お願いします。
(原委員)	中之口に住む原彩峰と申します。今、大学生をしています。 計画はとても素晴らしいと思いました。でも、どうしてもやはり、自分の市のことだと思えないというのが大きくて、魅力と活力という言葉が何度出てきましたが、ここに住む私たちにとっての魅力と活力ではなくて、その外に移住に関しての政策もたくさん見たのですが、やはりすごく外向きになっている気がしています。にいがた 2km や新潟駅にもすごくお金が使っているのも分かります。 でもその一方で、公共施設の再編で説明しに来てくださったのですが、その中でいかにお金がないかということで公共施設が減らされているのが現状ですよね。 その中で農村において、公共施設が 1 つ減ることでどれだけの地域住民が悲しい思いをするかというのをなかなか分かってもらっていない気がしていて、残念な気持ちでいっぱいです。 そこに関してちょっとご意見いただきたいのと、あと最近、有機農業とかそういうものも「はやり」というか、そういう市町村の子どもの給食とかでもそういうものも行っていると思うのですが、そちらに関してのお考えもお聞きたいです。
(中原新潟市長)	どうも貴重な意見ありがとうございました。まず、今日、説明させていただいたものが来年度の当初予算ということで、どうしても新潟市全

	<p>体の大きな話にならざるを得ないということをひとつご理解をいただきたいとともに、やはり新潟駅が今、60年ぶりにリニューアルということで、これは私たちがすべての、若い方たちは別ですけれども、私たちが一生のうちに1回はこの新潟駅の改修ということで、なおかつ新潟駅と言えば新潟の県都の玄関口にあたりますので、そうした大きな事業を新潟市が進めているということもご理解いただきたいと思います。また、にいがた2kmというところを、今、企業誘致という言葉を使わせていただきましたが、IT企業を誘致しています。</p> <p>このIT企業が若い方々にやはり魅力がある、これからの企業であるということから私どもはIT企業を対象に今、誘致をしております、それが今、少しずつ成果が出始めて、このにいがた2kmに進出をしてきていただいていると。こういう取り組みであります。</p> <p>いっぽうで今、大変、ご指摘をいただきました、その公共施設の再編についてですが、新潟市がたくさん、十数、市町村が合併いたしまして、公共施設が政令市の中でもっとも多くなっておりまして、その再編を進めざるを得なくなったということで、これはそのまま持っていることもできませんし、また、更新することもできないというような状況の中で、今、住民の皆さんにていねいに説明をしながら、この公共施設の再編ということを進めさせていただいています。</p> <p>これにあたり、中学校区単位で今、整備、検討させていただいていますので、今後とも皆さまのご意見を聞きながらていねいに進めてまいりたいというように思います。</p>
議長 (長井会長)	区長、どうぞ。
(鈴木西蒲区長)	<p>それでは有機農業の、オーガニックについてのことも今お話をいただきました。オーガニックの有機農業につきましては、ここ最近もそうですけど、以前から非常に大事な農業分野、また環境保全ということで、非常に大事な部分です。</p> <p>循環型農業、そして今まさにSDGsという大事な取り組みの中でひもづけられているところかなと思います。そういった視点も、私も研究しながら、実際の農業は流通の部分も非常に大きく関わってきますので、有機農業の大切さというのもしっかり勉強させていただきながらまた検討していかないとと思いますので、またよろしくお願ひしたいと思います。</p>
議長 (長井会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>小林委員、お願いします。</p>
(小林(ア)委員)	<p>小林と言います。よろしくお願ひします。西蒲区の新庁舎整備事業で、基本構想策定中とありますが、今、世の中が大変な戦争状態と、となりの国からミサイルが来るとか、Jアラート鳴っても「命を守る行動をしてくれ」なんて言われてもどう行きようがない。田んぼの真ん中だし。それで新庁舎を造るならシェルターを地下に設置して、西蒲区にはシ</p>

	<p>ェルターがあると。自慢と言えるような区役所を造ってください。</p> <p>もう予算は大変だろうと思うのですが、ここぞという時に力を入れないと、あとに自慢できる建物ができません。ぜひシェルターをお願いします。</p>
議長 (長井会長)	市長、お願いします。
(中原新潟市長)	<p>ありがとうございました。たしかに世界的に戦争などの環境がなりまして、平和ということに大変、危惧を持っている方々がたくさんあるというふうに思います。</p> <p>新たに建てます西蒲区役所につきましては、防災拠点を持つ新庁舎整備に向けて検討してまいりたいというふうに思います。ありがとうございました。</p>
議長 (長井会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>有坂委員、お願いします。</p>
(有坂委員)	<p>巻コミ協の有坂です。市長のお話とちょっとずれるかもしれませんが、私個人的にも大変関心のある具体的な質問をさせていただきます</p> <p>先月、2月22日の新潟日報の記事です。新潟県が県道や一部国道などの県管理道路にある道路照明灯を水銀灯などからすべて発光ダイオード、LEDに転換すると。こういう記事です。</p> <p>当然、今、あらゆる物価が上がり、電気料金が上がっている時代ですので、大變的を得たい施策かなと思っています。</p> <p>当然、水銀灯からLEDに変えますと2分の1から4分の1の電気量になると言われています。</p> <p>その内容は、県管理道路は政令市の新潟市内分を除く総延長5,300キロメートルとなっています。当然、政令市ですから、新潟市が新潟市内のそういうものを管理していると。当然のことだと思いますが、そのへん、新潟市はどのように考えるか教えてください。よろしくをお願いします。</p>
(中原新潟市長)	<p>県道のことについては建設課のほうに答えてもらいますが、新潟市ももちろん庁舎も含めていっぺんではできませんので、LEDに変える時に少し、普通の電気よりも高いお金がかかりますので、順次LEDに変換しているところです。</p>
(鈴木西蒲区長)	<p>道路については、全線今ということではないですけども、例えば今は402の中のトンネル内の照明更新の時にはLED化を進めながらやっています。</p> <p>先般の五福トンネルのほうも全面LED化になりました。更新時には計画的に進めていくというところで今やっています。</p>
議長 (長井会長)	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>黒川委員、お願いします。</p>

<p>(黒川委員)</p>	<p>漆山コミ協からまいりました黒川と言います。よろしくお願ひします。先ほど、新潟駅の改修工事ということで、きのうも私、新潟を通過、「これはどんなふう生まれ変わるのかな」と大変、楽しみに見てまいりました。</p> <p>この北陸地区では金沢に「鼓門」なんていう非常に目につくモニュメントがあったりするのですが、さて、新潟駅はどんなふう変わっていくのかなと楽しみに見てまいりました。新潟駅は県都の玄関口であるとするならば、この西蒲区には新潟市の道路の玄関口である、巻潟東インターを所有しています。</p> <p>今、新潟県内で初めてという、大和ハウスのシェア倉庫の建設を企画するところなのですが、もともと農村地帯である環境もありまして、立地条件は非常に良いし、もっと物流の開発を進めたいところではあるのだけれども、農地法の関係や、農村の環境の中で、なかなかうまく進んでいかないというふうなお話も耳に入ってきています。</p> <p>新潟駅の開発も大事だと思うのですが、この西蒲の巻潟東インターあたりの開発についても、スムーズに進んでいくように。またそれを地域の雇用にもつながっていくことではないかと思ひますので、そのあたりについてもぜひ力を入れて取り組んでいただければありがたいと思ひています。以上です。</p>
<p>議長 (長井会長)</p>	<p>市長さん、お願ひします。</p>
<p>(中原新潟市長)</p>	<p>どうもありがとうございます。今お話しいただきました大和ハウス工業さんが大型物流倉庫を巻潟東インター付近に造られるということで、私も今、来る時に見てまいりましたけれども、こちらのほうは順調に、もちろん今、お話しいただいたように巻潟東インターという、大変、交通の便利な拠点がありますので、こうしたところに工業地帯が広がっていくことは新潟市としても大変うれしいことだと思ひています。</p> <p>今後状況を見ながら、そうしたことが拡大できるかどうか検討してまいりたいと思ひます。</p>
<p>議長 (長井会長)</p>	<p>ありがとうございます。青柳さん。</p>
<p>(青柳委員)</p>	<p>防災士の青柳と申します。1つお願ひがあるのですが、公共施設の編成が今、進んでいるのですが、要支援者制度というものが新規に、令和5年度事業は取り組まれるのですが、今、避難所がとても足りなくて、公共施設を再編する際に、例えば西蒲の潟東と三方という地区に指定避難所が集中している状態で、高齢者の方たちがいざ避難するという時になる時に近場になくて困っている。その問題がずっと課題に残ったままであり、それは他区にも共通している課題だろうと思ひていますので、公共施設再編の際はよく考慮していただきたいと思ひています。</p>

	以上です。
議長 (長井会長)	補足に。ご発言ください。
(鈴木西蒲区長)	<p>大変ありがとうございます。本当に大事なご意見いただきまして、私ども公共施設再編につきましては委員のおっしゃったとおり、避難所の課題は非常に最重要としていただいております。平場になっているところが被災されることについては、本館の調整金から、例えば一時的な避難所というものをしっかり設けるとか、例えば民間のほうで協力できれば、そういったシステムを踏まえながら検討させていただいております。</p> <p>特に地域の皆さんからのご意見をしっかりと伺って、どこが安全だということをよく見極めながら進めていきますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
議長 (長井会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>私から一言だけ。</p> <p>保母さんが、勤務体制それから対応面で、非常に厳しい状況にあります。学校の先生方は、働き方改革で素晴らしく改善されているのですが、保母さん、介護をする関係の方は非常に悩んでいるようです。今、コロナ禍でいろいろ出ておりますが、新潟市に勤務する保母さん介護士さん等の待遇等についても検討していただきたいと思ひます。</p>
(中原新潟市長)	ご意見しっかり踏まえていきたいと思ひます。
議長 (長井会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で市長との懇談会を終わります。ありがとうございました。</p>
事務局 (丹治補佐)	これより 15 分の休憩に入ります。
事務局 (丹治補佐)	<p>皆さまお揃いのようなので、本会議を再開します。</p> <p>なお、追加で資料 2「第 9 期 委員候補者名簿案」を配付しています。それでは引き続き、長井会長から議事の進行をお願いします。</p>
議長 (長井会長)	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>議事 (1) の「各部会の状況について」です。</p> <p>各部会の状況を総務部会、保健福祉部会の順に、説明者席で説明をお願いします。</p>
(黒川委員)	<p>総務部会から報告します。</p> <p>先月開催した第 14 回総務部会では、「第 8 期西蒲区自治協議会から第 9 期への引継書の作成について」協議しました。</p> <p>協議の結果、前回の第 10 回西蒲区自治協議会本会議にて、いただいた意見を「他部会からの意見」とし、引き継ぎ書に加えることとしました。今年度の総務部会の活動は以上になります。</p> <p>総務部会の報告は以上です。</p>

議長 (長井会長)	ただいまの件について、ご意見やご質問がありましたらお願いします。
各委員	(異議なしの声)
議長 (長井会長)	ありがとうございました。 続いて、保健福祉部会より説明をお願いします。
(塩澤委員)	保健福祉部会から報告します。 先月の部会では、「第9期への引継書の作成について」協議しました。 協議の結果、前回までの部会で出た意見を基に作成した引継書に、先月の本会議でいただいた意見などを考慮し、引継書を最終決定しました。 また、引き継ぎに関連し、部会からの要望として、決定した引継書とは別に、引継書作成において出た意見も、確実に第9期へ伝えるよう事務局に要望しました。 今年度の保健福祉部会の活動は先月で最後となりました。部会活動に関し、委員の皆さまから、多大なるご協力をいただき、この場を借りて厚くお礼申し上げます。 保健福祉部会の報告は以上です。
議長 (長井会長)	ただいまの件について、ご意見やご質問がありましたらお願いします。
各委員	(異議なしの声)
議長 (長井会長)	続いて、まちづくり・産業部会からは引継書の内容を説明するとともに部会内で検討した議題を協議したいと思います。 それでは、まちづくり・産業部会の説明をお願いします。
(竹内委員)	まちづくり・産業部会から、第9期への引継書の内容説明と、引継書作成にあたり部会内で検討した議題について説明します。 資料1-2「第8期西蒲区自治協議会から第9期への引継書」をご覧ください。 第8期では、令和3・4年の提案事業として、ドローンを活用した「西蒲区の魅力発信動画」を制作しました。 事業の効果ですが、「自分の住んでいる地区以外のことが分からない。一体感醸成が必要」「西蒲区の魅力発信がまだまだ足りない」という2つの課題に対して、動画という形に残るものを制作できたのは非常に意義があったと考えています。 その反面、動画の周知については課題も出てきました。 裏面をご覧ください。 「実施してきた取り組みを次のステージに進めるためにはどのような取り組みが必要なのか」について協議したところ、4つのポイントが挙がりました。 ポイント①、より特化した西蒲区の魅力発信。 ポイント②、動画で西蒲区に関心を持った人を観光につなげる仕組みづ

	<p>くり。</p> <p>ポイント③、「観光」以外の観点からの事業検討。</p> <p>ポイント④、多様な考え方による事業検討。</p> <p>これらのポイントを第9期の方々へ引き継ぎたいと思います。</p> <p>以上が第9期への引継書の内容となります。</p> <p>続いて、制作した「西蒲区の魅力発信動画」を上映したいと思いますのでご覧ください。</p>
(会場)	(動画上映・25分程度)
(竹内委員)	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、まちづくり・産業部会提案に基づく協議事項について説明します。</p> <p>資料3ページ目「まちづくり・産業部会に基づく協議事項」をご覧ください。</p> <p>先にも説明しましたが、部会内で提案事業の効果・課題を協議する中で、制作後の動画の周知方法について課題として挙がりました。</p> <p>より多くの人に動画を視聴してもらうために、どのような取り組みが有効であるかご意見をうかがえればと思います。</p> <p>結論を出すことを目的にしていまませんので、積極的にご発言いただければ幸いです。よろしくお願いします。</p>
議長 (長井会長)	<p>ただいま、まちづくり・産業部会から提案のあった議題について、意見がある方はご発言をお願いします。</p> <p>古島委員、お願いします。</p>
(古島委員)	<p>本当に素晴らしい動画でした。</p> <p>質問になりますが、地域から、ある部分を取り出して使いたいという話が出るかと思うのですが、そういう場合、著作について、どこに許可をもらえば良いでしょうか。</p>
事務局 (吉川主事)	<p>私のほうから回答させていただきます。今回の動画について、西蒲区地域総務課に著作権があります。</p> <p>今ここでは、明確な回答をすることができませんが、もしお貸しできる際は、西蒲区地域総務課にて、協議させていただいて、使用していただくという、一連の手続きが必要になるかと思しますので、その辺、改めて内部で整理してから、皆さまに回答できるようにしたいと思います。</p>
議長 (長井会長)	<p>そのほか、意見がある方はご発言をお願いします。</p> <p>田中委員、お願いします。</p>
(田中(弘)委員)	<p>広く視聴してもらうというねらいであれば、紙形式のものがいいと思います。新聞及びテレビ、委員の皆様から、このような動画を完成しましたとPRを行えば良いと思います。</p>
(竹内委員)	<p>貴重な意見をありがとうございました。</p> <p>指摘のとおり、部会でも1つの大きな課題としまして、挙げられてい</p>

	<p>ましたのでそれらを踏まえ、第9期の方々へ引き継がせていただいて、より良い提案事業に繋げていただけるよう願っています。</p>
議長 (長井会長)	<p>そのほか、意見がある方はご発言をお願いします。 原委員、お願いします。</p>
(原委員)	<p>空港や西蒲区のぐる～んバス、または電車の中で動画を流すことも良いかなと思いました。</p>
(竹内委員)	<p>ありがとうございました。若い視点から素晴らしい意見いただきましたので、こちらも先ほどと同じように第9期の方々に繋げていただきたいと思います。</p>
議長 (長井会長)	<p>そのほか、意見がある方はご発言をお願いします。 内藤委員、お願いします。</p>
(内藤委員)	<p>駅の待合室など、モニターがある場所で、人が見てくれるようなところでも流したほうが良いのかなと思いました。</p>
(竹内委員)	<p>ありがとうございました。</p>
議長 (長井会長)	<p>そのほか、意見がある方はご発言をお願いします。 吉田委員、お願いします。</p>
(吉田委員)	<p>大変素晴らしい動画、ありがとうございました。1年間関わらせていただき、非常に途中経過が不安になっていましたが、良いものができたと思います。</p> <p>2点ありますが、まず1点目。今回、「じちきょう」の広報紙に、YouTubeのバナーを貼り付けていますので、ここから見るできるようになっていますが、積極的に区役所から各産業協会・コミ協などに働きかけ、見つけてもらえるようにして、ここで西蒲区役所及び新潟市のホームページも表示できるようにするといいいのかなと思います。</p> <p>2点目は、今期以降予算がないと思いますが、初めて見る方でも分かるように、ダイジェスト版のようなものの作成を今後検討していただけると良いと思っています。素晴らしい動画をありがとうございました。</p>
(竹内委員)	<p>大変ありがとうございました。皆さまから大変貴重なご意見をいただきましたので、より一層の地域の方向に向けていきたいと思っています。今後ともよろしくをお願いします。</p>
議長 (長井会長)	<p>竹内さん、1つ。今後の活用について、お金の問題もありますし、今どうこうという問題はないですが、行政のほうで積極的にこのPRにも力を入れていただきたいので、地域総務課長一言お願いします。</p>
事務局 (高橋地域総務課長)	<p>せっかくできたものですから、大いに活用させていただきたいと思っています。また新しい委員さんともご相談させてもらいながら進めてまいりたいと思います。ありがとうございます。</p>
議長 (長井会長)	<p>ありがとうございました。 竹内さん、どうもありがとうございました。</p>
(竹内委員)	<p>ありがとうございました。</p>

議長 (長井会長)	議事(1)はこれで終了します。続きまして議事(2)「次期西蒲区自治協議会について」です。委員推薦会議の土田座長から説明をお願いします。
(土田委員)	<p>委員推薦会議の検討の結果について報告します。資料2をご覧ください。</p> <p>前回の推薦会議で委員候補者27名の推薦に関する議決をしていただいたところですが、前回決まっていなかったJA新潟かがやき女性部、PTA連合会、支え合いのしくみづくりの3名の方が来られて、西蒲区、社会福祉協議会の諸原さんの異動に伴う交代による、計4名の方の推薦について、追加で議決をお願いするものです。</p> <p>今回、推薦のあった谷原さんの選出母体については、西蒲区支え合いのしくみづくり会との相談の結果、実態に即した選出母体である、「西蒲区中之口・潟東圏域支え合いのしくみづくり会議」とすることにご承認いただきたく考えています。</p> <p>今回の4名を加えると、第9期への改選により、新しい委員として推薦された方は30名中21名となります。</p> <p>また、女性の委員候補については12名で40パーセントとなります。</p> <p>以上が現時点での第9期西蒲区自治協議会の委員候補者案になります。追加の4名の委員候補者について、委員資格の要件を確認し、全員が要件を満たしていたので、資料のとおり委員推薦会議として西蒲区自治協議会に推薦します。説明は以上です。ありがとうございました。</p>
議長 (長井会長)	<p>ありがとうございました。ただ今の件については、新潟市区自治協議会条例施行規則第3条第4項にて区自治協議会は推薦会議の選考結果を尊重し、議決により委員候補者を決定するものとする定められています。</p> <p>こちらは委員の人事に関わる案件ですので承認くださいますようお願いいたします。いかがでしょうか。</p>
(委員数名)	(異議なしの声)
議長 (長井会長)	ご異議なく承認されるということですので、現時点での第9期西蒲区自治協議会の委員候補については推薦会議の案のとおり、よろしく願いします。
(土田委員)	ありがとうございました。
議長 (長井会長)	<p>ありがとうございました。それでは議事(2)を終了します。続きまして議事(3)「令和4年度区自治協議会提案事業の事業評価について」です。</p> <p>本議事は各部会で決定した事業評価をまとめたものを説明し、それを西蒲区自治協議会でやりたいこととして良いか審議するものです。地域総務課長から説明をお願いします。</p>
事務局	地域総務課です。「令和4年度、区自治協議会提案事業の事業評価」に

<p>(高橋地域総務課長)</p>	<p>ついて説明させていただきます。資料3をご覧ください。</p> <p>区自治協議会提案事業については地域課題等の抽出・選定から企画提案・実施までを自ら評価するもので、改善点などを来年度以降の区自治協議会提案事業に生かしています。</p> <p>皆さまから確認していただいた事業計画書を、お手元の資料3のように取りまとめて整理しましたので、本日はこの内容を最終的な評価としてよろしいかご協議をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、各事業の評価の内容について簡単にご説明します。</p> <p>初めに、資料3の1ページ目です。総務部が実施した「住みよい・豊かな・活力あるまちづくりプロジェクト」です。</p> <p>総務部会での協議の結果、スポーツ・レクリエーションを通じた、地域の一体感の醸成を目的にコミュニティ協議会対抗戦のスポーツ・レクリエーションを実施しました。</p> <p>下から2段目の事業の評価欄をご覧ください。幅広い年代から参加があったことから、世代間交流に寄与でき、また、コロナ禍において運動不足になりがちだったが、運動するきっかけになった。また、中止にはなりましたが、起震車体験を企画するなど、防災意識への啓発にも効果があったと評価できます。</p> <p>続いて2ページ目、保健福祉部会が実施した「あたたかな人の和でつながる輪事業」です。保健福祉部会での協議の結果、西蒲区は高齢化率が高く、認知症患者が増加することが想定されるため、脳医学の観点から医学博士加藤俊徳氏をお迎えし、講演会を開催しました。</p> <p>下から2段目の事業の評価欄をご覧ください。約600名の方から参加いただくなど、認知症に関する区民の関心が高いことが分かったことと、参加者のアンケート結果からも、95パーセントの方から、満足しているという評価をいただいたところです。</p> <p>最後に3ページ目の、まちづくり・産業部会が実施した「西蒲区お宝発信事業」です。</p> <p>まちづくり・産業部会での協議の結果、ドローンを活用した西蒲区の魅力を伝える動画を制作し、それを活用した魅力発信を行うことになりました。</p> <p>下から2段目の事業の評価欄をご覧ください。魅力発信動画の作成に向けては、コミュニティ協議会との意見交換を通じて、撮影箇所や、動画構成などについて検討を行いました。</p> <p>普段見ることができない角度から地域の魅力を再認識するなど、一体感の醸成に効果があったと評価できます。</p> <p>以上、令和4年度区自治協議会提案事業の評価案になりますが、この内容をもって西蒲区自治協議会の評価としてよろしいか、皆さまからご協議をお願いしたいと思います。説明は以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>ただ今の件についてご意見やご質問はありますか。</p>

(長井会長)	地域総務課長から話のあったとおりで承認することに異議はありませんでしょうか。
(会場)	(異議なしの声)
議長 (長井会長)	拍手をひとつよろしくお願いします。
(会場)	(拍手)
議長 (長井会長)	ありがとうございました。
事務局 (高橋地域総務課長)	ありがとうございました。
議長 (長井会長)	それでは議事(3)を終了します。続いて報告に入ります。報告1の「巻斎場整備事業」についてです。保健衛生総務課長から説明をお願いします。
(真田保健衛生総務課長)	<p>保健衛生総務課長の真田と申します。本日は貴重なお時間を頂きありがとうございます。</p> <p>お手元に資料4をご用意ください。それでは巻斎場の整備について説明させていただきます。</p> <p>現在、新潟市における年間死亡者数は約8,900人で、お亡くなりになった方を青山・新津・白根・亀田・巻の5つの斎場で火葬しています。</p> <p>今後、全国的にも、年間死亡者数は2040年から2045年までをピークに、令和で言いますと令和22年から令和27年までをピークとして増加していきます。</p> <p>新潟市ではそのピーク時に年間死亡者数は、約11,700人となることが見込まれ、現在の約1.3倍となる火葬需要に、新潟市全体で対応していくことが必要となっています。</p> <p>将来ピークを迎える火葬需要に対応していくためには、各斎場の火葬炉や建物の耐用年数を考慮しながら火葬能力を高めていく必要があります。</p> <p>現在の巻斎場ですが、1968年、昭和43年に旧巻町および、旧岩室村が共同で組合を作り、火葬炉3基の斎場として開設されました。その後、旧西川町・旧潟東村が組合に加わり、1987年、昭和62年に増築を行って、火葬炉を2基増設しています。</p> <p>巻斎場は市内にある5斎場の中で、建物はいちばん古く、昭和43年棟は築50年を超えています。</p> <p>また、火葬炉もいちばん古く、開設当時からのものであり、火葬に時間がかかってしまう古いタイプの炉が設置されています。</p> <p>将来ピークを迎える火葬需要を見据え、施設の老朽化が進む巻斎場の火葬能力を今のうちに高めておく必要があるため、この度、建て替えに</p>

	<p>よる整備を進めていくことが決まりました。</p> <p>お配りした資料の下段の表をご覧ください。表の左側が現状の巻斎場で、右側が建て替え後の巻斎場案です。</p> <p>新巻斎場では最新の火葬炉を3基設置し、火葬時間の短縮を図ります。また、現火葬炉は前室がないことから、入棺の際に炉の内部が見えてしまいますが、新斎場では前室を設置し、遺族の心情に配慮していきたいと考えています。</p> <p>平成12年3月に策定された「火葬場から排出されるダイオキシン類削減対策指針」に対応した、環境に配慮した火葬設備としていきます。</p> <p>棺を運ぶ台車についても手動式のものから電動式のものに変更します。</p> <p>それ以外にも現在、多目的トイレがない、男性用のトイレに洋式の便座がない、増築により動線が複雑になっている等々の課題がありますが、新斎場ではユニバーサルデザインに配慮し、会葬者にとっても、作業する職員にとっても無駄のない動線を確保していきたいと考えています。</p> <p>表にはありませんが、背の高い方とか、かっぶくの良いかたのご遺体にも対応できるよう、大型棺への対応を可能とするほか、収骨をする際、職員がトレイに集めた骨から骨上げするのではなくて、台車の上に人体の形に整えた骨から骨上げができるような設備としていきます。</p> <p>お配りした資料の事業期間をご覧ください。令和5年度前半は基本計画・測量・地質調査、後半は基本設計の実施を予定しています。</p> <p>順調に進んだ場合、令和6年度に実施設計、令和7年・令和8年度に建設工事、令和9年度の供用開始を予定しています。</p> <p>斎場敷地内、ここの土地は新潟市が所有している土地なのですが、この斎場敷地内に新たな斎場を建設しまして、供用を開始してから現斎場を解体することで、火葬を止めることなく整備を進め、皆さまになるべくご迷惑がかからないようにしていきたいと考えています。</p> <p>これから基本計画・基本設計なので、今はまだ細かいお話がなかなかできないのですが、基本設計の概略が固まった頃、大体、令和5年度の末になってしまうと思いますが、より具体的なお話をさせていただきたいと考えておりますのでよろしくお願ひします。</p>
<p>議長 (長井会長)</p>	<p>ありがとうございました。それでは、ただ今の件についてご意見やご質問がございましたら、挙手をお願いします。</p> <p>この件についてはご質問等がありませんので、報告1は承認することにしました。よろしいでしょうか。</p>
<p>(委員数名)</p>	<p>(はいの声)</p>
<p>議長 (長井会長)</p>	<p>どうもありがとうございました。</p>
<p>(真田保健衛生総務課長)</p>	<p>どうもありがとうございました。</p>

<p>議長 (長井会長)</p>	<p>続きまして報告2「区自治協議会会長会議の報告について」です。私のほうから説明します。</p> <p>資料は皆さまのほうに配付していますが、これはあとで完成したものが配付されると思いますので、読んでおいていただければと思います。</p> <p>今年度第3期の会長会議が開催されました。本日は市長も出席いただき、各区の会長より、第8期の振り返りについて報告がありました。</p> <p>私からは各部会で検討した本会議の協議事項や地域おこし協力隊をテーマにした委員研修の開催。コロナ禍においても実施してきた各部会の提案事業などについて報告しました。</p> <p>鈴木区長も今回が最後ですが、我々も、西蒲区の一体感の醸成に貢献できればと区自治協議会の活動に関わってまいりました。</p> <p>第8期においては各地域、コミュニティ協議会対抗のスポーツレクリエーションや、西蒲区魅力発信動画の作成など多くの事業を実施し、少しではありますが、一体感醸成に貢献できたのではないかと自負しています。</p> <p>その中で、じちきょう新聞や、いろいろ資料がございますが、そのようなわれわれの成果を提示し市長にお渡しして、お伝えさせていただきました。</p> <p>また、各区、会長との意見交換の中で、女性委員の登用についても話題になりました。</p> <p>女性の活躍しやすい環境づくりが重要であるもので、他区においても女性を会長にという動きがあるとのことで、江南区等々が検討しているそうです。</p> <p>男性がバックアップすることで、女性会長・副会長等が生まれることになるのではないかと思いますので、これから委員になられる皆さまの環境づくりをして、次期会長を中心に検討していただきたいと思います。</p> <p>ただ今の件についてご質問やご意見がございましたらお願いします。それでは報告2を終了させていただきます。</p> <p>次に「その他」です。ご発言の事前申し出はありませんでしたが、西蒲区自治協議会全体で議論したい課題、あるいは皆さまにお伝えしたい用事等ございましたらご発言をお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
<p>(小林(正)委員)</p>	<p>はい。</p>
<p>議長 (長井会長)</p>	<p>ほかがないようでしたら、本日の議事はすべて終了しましたので、進行を事務局にお渡します。よろしくお願いします。</p>
<p>事務局 (丹治補佐)</p>	<p>ありがとうございました。最後に、今期で退任される委員の皆さまからひとつごあいさつをいただきたいと思います。それでは初め長井会長、畠山副会長からあいさつしていただいたあと、黒川委員から時計回りをお願いしたいと思います。</p>

(長井会長)	<p>長井です。私、寺泊から来て西蒲に住みまして20年です。</p> <p>その中で、「よそ者」と言われがちなのですが、3期6年間、会長をさせていただきます。</p> <p>会長会議の中でもいちばん長いほうです。これも常日頃、皆さまご援助いただいたたまものと感謝しています。これからまた地域で子どもの見回りを続けて脳の活性化をしていきたいと思ひます。</p> <p>子どもたちは、「今日は給食が非常においしかったよ。」などといつも教えてくれます。このように子どもと話していると、脳の活性化ができるのではないかなと思ひています。皆さまのような高度な話し合いに参加することはないかと思ひますが、今後そういうことで活動していきたいなと思ひています。</p> <p>長い間ありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	畠山副会長お願いします。
(畠山委員)	<p>畠山です。先ほど市長さんに質問した時に3期6年とお話ししました。ご苦労さまでした。終わりました。</p> <p>短かったような、長かったような、面白かったような、面白くなかったような、いろいろな思い出がたくさんあります。</p> <p>今、野球でWBCをやっていますが、日本が勝つといいですね。巨人の4番で岡本さんという人がイタリア戦でスリーランを打ちました。そのあとのインタビュー、すごく印象的でした。それを真似します。</p> <p>西蒲区、自治協。最高です。</p>
(会場)	(拍手)
(畠山委員)	西蒲区役所の鈴木区長も含め、職員の皆さん、最高です。
(会場)	(拍手)
(畠山委員)	終わります。
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	黒川委員お願いします。
(黒川委員)	<p>5期・6期、1期飛ばして8期。通算で6年お世話になりました。</p> <p>職を退いて2年、何もしない期間があったのですが、誘われるままにこういうところに参加させていただいて、どうしてもやめてしまうと自分の身の回りのことにしか目がいかなくなるという傾向があるかと思うのですが、そんな中で地域やあるいはもう少し全体に目を向けるチャンスをもたらしたなど。そういうことで、私も非常に楽しい時間を過ごさせてもらいました。</p> <p>初めはコミ協、前の委員ではコミ協代表2名という時代であったため、また今とは様子が違うのですが、今のようにいろいろな分野の方が来て</p>

	<p>くださるというのもとても刺激があつていいなと思っています。</p> <p>そして私は何よりも、ここに出てきた中でいい人たちと巡り会えたということで、そのことにも感謝しています。</p> <p>先ほど長井会長が見守り隊続けますと言われましたが、私も2年ほど前から漆山小学校の見守りをしており、ずっと私が歩けなくなるまで見守り隊を続けたいものだなと、そんなことを思いながら、また地元に戻ったらそれなりに頑張っていきたいと思います。行政と地域の絆、かなめ。協働の要である自治協議会があつてますます発展することを心より願っています。本当にありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	矢沢委員をお願いします。
(矢沢委員)	<p>矢沢です。1期2年で終わりますけども、私はスポーツ協会のほうからの代表で参加しました。</p> <p>総務部会に入り、たまたま2年目でスポーツの関係のお仕事させていただきまして、何も分からない中で2年過ぎたということで、ようやくなにか分かり始めた時で退任というかたちでしたが、いろいろなことを経験させてもらいまして、本当に楽しかったと思います。</p> <p>また、本当に自分たちがやってきたところが少しでも役に立ったかどうか分かりませんが、ひとつの結果が出て良かったと思います。</p> <p>またこれからもよろしくお願いします。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	土田委員をお願いします。
(土田委員)	<p>土田正榮といいます。3期6年間、いろいろ勉強させていただきました。</p> <p>自治協議会というのは、初めちょっと「うとかった」のですが、こちらのほうに入りいろいろと各分野の方々、違う目線でいられる方がミックスして、こういう会。私も老人クラブから代表で務めてまいりました。大変ありがとうございました。</p> <p>西蒲区は高齢者の方が大勢いられるわけですけども、その中で特に高齢の方は一方的なものの考え方で視野がだんだん狭くなってまいりますが、この自治協議会で私がいろいろな勉強させていただいたことをまた、高齢の方々にも話し、態度で示して行こうと思います。大変ありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	塩澤委員をお願いします。
(塩澤委員)	<p>塩澤敏男です。3期6年、保健福祉部会で委員として活動しました。</p> <p>各方面から選出された委員の方と西蒲区のいろいろな問題とか課題に</p>

	対していろいろな意見をいただいたり、話し合ったりして、非常に勉強することができました。本当にありがとうございました。
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	穂苺委員をお願いします。
(穂苺委員)	<p>潟東コミ協から3期6年務めさせていただきました穂苺です。塩澤委員と同じく6年、保健福祉部会で活躍させていただきましたのですが、とても勉強になり、潟東から選出されたわりには潟東の情報が皆さまにどれくらい伝えられたかなというのがちょっと心残りですが、自治協に行っすぐくなにか人との関わり合いとか、勉強になることがいっぱいあったので、これからまた潟東に帰ってから、この勉強になったことを少しでも伝えられたらなということをやちょっと実感しています。</p> <p>6年間ありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	野沢委員をお願いします。
(野沢委員)	<p>野沢です。保健福祉部会、2年間、1期だけでしたが、大変勉強になりました。ありがとうございます。</p> <p>私は西川地区の民生委員協議会の会長になり、今後、地元で民生委員としてその活動を一生懸命やっていきたいなと思っています。</p> <p>今後とも皆さん、どこかで会うかもしれません。どうぞこれからもよろしくをお願いします。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	諸原委員をお願いします。
(諸原委員)	<p>西蒲区社会福祉協議会の諸原です。保健福祉部会での1期だけですが、務めさせていただきました。</p> <p>住んでいるところが西区で、おっかなびっくり入ったわけですが、皆さますごく優しくて、非常に楽しくすることができました。</p> <p>この優しいところがなんと言っても西蒲区のいちばんいいところかなというふうに自分自身は思っているので、これからもそうになっていただければなと思います。</p> <p>私もまたちょっと本部のほうに戻るのですが、そこからこれから西蒲区の発展を祈って行きたいと思っています。本当に2年間どうもありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	内藤委員をお願いします。
(内藤委員)	地域教育コーディネーターの中学校のということで参加させていただ

	<p>いておりました内藤です。</p> <p>たった2年、1期だけだったのですが、ちょっといろいろ忙し過ぎて、家族会議でやめることになりまして、申し訳ありません。</p> <p>地域教育コーディネーターもあるし、移動販売もやっておりますので、地域を盛り上げるために自分ができることを頑張っていきたいと思えます。2年間ありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	原委員をお願いします。
(原委員)	<p>原彩峰です。2年間お世話になりました。学生として選んでいただいています。</p> <p>ここに入るまで新潟市、その市役所とか区役所とか、こういう計画を立てて、私たちのためになることをたくさんやっていたり、自治協に入ってすごく西蒲区の発展のために頑張っていらっしゃる皆さまに会えたことすごく視野が広がりました。保健福祉部会に入って、まだあまりイメージのわかなかった高齢者の方とか、老後とか、皆さま切実な思いをもっていろいろな方がここで生きているのだなということが分かったのが私はとても良かったです。</p> <p>大学で自治協に入ることにしたのだということを農学部の農業経済の先生にお伝えしたら、この自治協というのは県内でも新潟市と、たしか上越で、日本全国的にもけっこう珍しいとおっしゃっていて、とてもいい取り組みで、市役所とか、その事業を止めうる存在であるということもすごく大きな責任であり、「そういうものなのだよ、大丈夫か」とすごく心配されましたが、これから残られる、続けられる方も、止めたっていいのだしなという。いやなことは「はい」と言わないということが大事かなと思いました。私もそうやって生きていくと思うので。ありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	旗本委員をお願いします。
(旗本委員)	<p>中之口コミ協から出ています。旗本です。1期2年で終わりましたが、まちづくり・産業部会に所属して、今回動画に少し携わったのですが、ほかの地区のいろいろな話を聞くことができ、知らないものが大変多くて、2年間でありましたが、大変参考になったし、勉強になった2年間でした。</p> <p>今回で退任しますが、今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
事務局	高島委員をお願いします。

(丹治補佐)	
(高島委員)	<p>西蒲区観光協会連絡会の高島です。私も1期2年でした。私は観光代表ということで、今回、地域の動画作るということは非常に良かったかなと思います。</p> <p>観光というものは、点でするよりも面で、広域で連携していったほうがいいかなという考えで、今回、西蒲区は合併してかなり経っていますけど、まだまだ知らないことばかりで、言われると少しずつ広がりが出てきたのかなと思っています。</p> <p>また、今回動画を作っていただきました。今、非常に一生懸命まいています。おそらく数年後には会議でも展開していきますので、どうぞよろしくをお願いします。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	河合委員をお願いします。
(河合委員)	<p>河合正士と申します。6年前、この協議会のメンバーで、まったく任意の団体として活動している、北国街道まち歩きガイドの会を代表して出てくれということが発端です。</p> <p>私はガイド十数年やっています、地元のPR・活性化。地元の宝の発信。それによるまちづくりというものが非常に頭にありましたので、それを最重点としてとらえさせていただきました。</p> <p>それで、一体感の醸成等々含めまして西蒲区にない地区のまち歩きのガイド団体を作りたいということで、4つの地区から手を挙げていただきまして、渦東・中之口・角田・西川と。それが今、稼働しています。</p> <p>その思いがかたちになったこと。そして今年度、動画を見られて、発信しようという思いで、これもなんとか少しでも力になればということで、できあがりしました。</p> <p>かたちに残ったことは、私のすべての思い出かなと思っています。また、足がきく間は岩室の案内もはじめ、北国街道へ帰る会ということで、まち歩きを企画・立案が多々あるかと思っています。</p> <p>その時はどうぞまた会いに来ていただきたいと思います。本当に6年間、お世話になりました。ありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	有坂委員をお願いします。
(有坂委員)	<p>巻コミ協所属で、2期4年間お世話になりました。特にこの部会、まちづくり・産業部会。今年と昨年度、2年にわたって先ほど動画を見ていただきましたが、この動画作成ということで、各地、見たこともない行事などいろいろなところを楽しく見させていただき、動画を編集しました。</p> <p>ただ、この編集が各9つの地区から2・3点程度の内容を出していただ</p>

	<p>いて、それをまとめると。そのへんがいちばんどうまとまるかということが皆さんで協議したうえですが、春夏秋冬、どういう組み合わせがいいのかということでいちばん悩んだのですが、今、見ていただいたように、非常によくまとまったのでないかなと思っています。</p> <p>それが最後になりましたので、私自身、記念として喜んで退任ということでございます。今後ともよろしく願います。ありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	堀委員をお願いします。
(堀委員)	<p>松野尾コミュニティ協議会から来ました、堀と申します。私、任期4年過ごさせていただきました。最後、動画作りで2年間、本当に充実した2年間でした。</p> <p>と同時に、ちょっと開放感がひとつあります。いたらないところもありましたが、お世話になりました。ありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	竹内さんをお願いします。
(竹内委員)	<p>さまざまな経過を経て、任期4年、8年間お世話になりました竹内です。ありがとうございました。</p> <p>8年間といいますと、小学校1年生になった子どもたちが、今年から中学3年になるという期間を振り返りますと、大変その8年間の思いを、実感をしているところですが、自治協におじゃましたことによって、本当に西蒲区のさまざまな皆さまにお会いすることができて、たくさんの学びと、そして希望と、本当に良い方たちとの出会いは私にとっては宝物となりました。</p> <p>これからまた新しい時期が始まるわけですが、ますますの自治協議会の発展を祈りましてあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
事務局 (丹治補佐)	退任される委員の皆さま、本当にありがとうございました。それでは第8期西蒲区自治協議会の閉会にあたり、区長よりごあいさつを申し上げます。
(鈴木西蒲区長)	<p>どうも失礼いたします。まず第8期のご協力の委員の皆さま、大変にありがとうございました。本当にこの2年間、本当に支えていただきまして、竹内さんは8年、河合さんは6年間。またこの今期でまた退任される皆さま方、本当にありがとうございました。</p> <p>また、来年度も9期ということで、たくさんの皆さま、本当によろしく願い申し上げます。</p>

	<p>わたくしごとですけれども、この3月をもちまして定年退職させていただきます。ただ、誕生日が3月25日ですので、まだ59才、まだしがみついているような感じもしますが、年度末をもちまして定年退職ということでございます。</p> <p>本当に6年間、大変にありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
(鈴木西蒲区長)	<p>いろいろなことが思い出してきて、これ以上お話ししますと涙が込み出てくるので、ここで締めさせていただきますが、6年前に初めてこの自治協に参加させていただいた時に緊張感のあまり、ついていけないのかなと、緊張感に包まれたスタートがありましたが、この6年振り返ってみますと、後半の、やはりコロナの影響が非常に大きくて、その中で地域活動が思うようになかなかできなかった中、皆さま方から本当にお力添えをいただいて、徐々に復活をして、今期8期の中で集大成という、本当に皆さま方から大運動会や認知症講演会をしていただき、西蒲区の魅力を余すところなくまとめていただいた動画作成ということで、素晴らしい西蒲区の一体感のある事業が皆さん方のおかげでできたなあと、本当に感謝申し上げます。</p> <p>これからますます皆さま方のご活躍、また、ご健勝お祈りしながらまた西蒲区の新時代、町の発展を願っておりますのでよろしく願います。</p> <p>わたしごとですけれども、4月以降は少し充電期間をいただいて、少しそのあと、うまく行きましたら、中小企業さまのサポートといたしますか、福利厚生をお手伝いさせていただくところに勤めながら、また西蒲区でもお世話になる機会が多々あるかと思えます。よろしく願います。</p> <p>本当にお世話になりました。ありがとうございます。</p>
(会場)	(拍手)
(鈴木西蒲区長)	<p>今日はいろいろな課題を第9期に、また、皆さんにお願いするにあたっては、今日は新区長である堀区長が待っています。</p> <p>今回、堀さんからあいさついただけたと思います。</p>
(堀次期西蒲区長)	<p>皆さんこんにちは。この4月1日より西蒲区長を拝命いたしました。堀峰一と申します。よろしく願い申し上げます。先ほど、動画にもありました、この魅力あふれる西蒲区で区長をさせていただくということで大きな期待と喜びを感じております。</p> <p>また、その一方で内示をいただいてから毎日、区長という大役、自分に務まるかどうかということで非常に身の引き締まる思いでいっぱいでございます。</p> <p>最初は本当に皆さまからさまざまなこと、地域のこと、教えていただきながら精一杯取り組んでまいります。皆さんといっしょに取り組んでまいりますので、引き続きのご支援とご協力をお願いします。</p>

	今後ともよろしく申し上げます。
(会場)	(拍手)
(鈴木西蒲区長)	ありがとうございました。また今後ともよろしく申し上げます。
事務局 (丹治補佐)	<p>ありがとうございました。最後に事務局からの連絡です。本日の懇親会ですが、午後6時から割烹古俣で開催されます。なお、巻駅から会場までの送迎バスは午後5時55分頃、巻駅から出発しますのでご利用ください。真島がアテンドします。</p> <p>バスを利用されない方は6時までに直接会場へお越しください。</p> <p>以上をもちまして令和4年度第11回西蒲区自治協議会を閉会します。お疲れさまでした。</p>